

## アルビオン、油脂工業会館主催の 油脂技術優秀論文「優秀賞」を受賞

株式会社アルビオン(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 章一)は、一般財団法人 油脂工業会館が主催する令和6年度 油脂技術優秀論文で「優秀賞」を受賞しました。

優秀賞を受賞した論文は新規乳化構造を有するクレンジング製剤開発に関するもので、学術的意義があると共に産業利用への貢献が高いことが評価され受賞にいたりました。

本論文はアメリカ化学会発行の学術雑誌「Langmuir」(2024年2月発行)のカバーアート(写真2)にも採用され、注目を集めました。



写真1. 2月21日の授賞式にて優秀賞を受賞した新聞研究員



写真2. Langmuirカバーアート

### ■受賞論文について

論文タイトル	Hierarchical Emulsion Structure and Functionality Regulated by Coexisting Bicontinuous Microemulsion and Liquid Crystal Domains
執筆者※	株式会社アルビオン 研究部 スキンケア製品研究グループ 新聞 優子 氏 信州大学 佐藤 高彰 氏 フィレンツェ大学 Piero Baglioni 氏 日光ケミカルズ株式会社 小倉 卓 氏 ※執筆当時の所属
研究概要	クレンジングオイルに応用されるバイコンティニアスマイクロエマルジョン(BCME)は、クレンジング力に優れるものの低粘度であるため使用性に課題がありました。 本研究ではラメラ液晶(LC)との共存によってBCME構造を維持したまま増粘することに成功し、これをBCLC乳化と呼ぶこととしました。さらにこの乳化物は油相と水相が両連続的に混ざりあい、その油相中に油滴が数珠状に繋がる非常にユニークな乳化状態であることもわかりました。 機能性に関してもBCME由来の優れたクレンジング力を維持しているだけでなく、増粘することで課題であった使用性の改善、とろけるような感触を付与した新たなクレンジング基材の開発に成功しました。
掲載誌名	Langmuir, Vol.40, Issue 8, 4077-4086 (2024)

アルビオンは今後も高級化粧品メーカーとして、国内外で高く評価・注目される研究開発に努め、世界のお客様の喜びとご満足を追求してまいります。

■過去の関連リリース

2021年11月1日発行

[アルビオン、とろけるような肌感触の新規クレンジング製剤を開発-.pdf](#)

■参考情報

油脂工業会館 油脂工業に関する調査研究の助成、技術や経営の改良等の向上に寄与する優秀論文の表彰等を行うことにより、油脂工業の健全な発展を図り、日本国民生活の向上に貢献することを目的として1948年に設立。

[一般財団法人 油脂工業会館公式ホームページ](#)

Langmuir 米国化学会により1985年に創刊された、主に表面およびコロイド化学分野の研究をカバーする権威ある学術誌。

[Langmuir Journal 公式ホームページ](#)